

R I. 第2620地区 静岡第2分区分
三島西ロータリークラブ

週報

第1971号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 プケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2034回例会 ガバナー公式訪問

2014.7.18曇

司 会

三田明宏君

ロータリーソング

「日も風も星も」
指揮 栗原達治君

会長挨拶

会長 諏訪部照久君

皆さんこんにちは、きょうはガバナー公式訪問日で、せせらぎ三島RCとの合同例会になっています。後ほど岡本ガバナーの話を拝聴する予定となっていますので、岡本ガバナー宜しくお願いします。

さて、話は変わりますが7月13日(日)にグランドホテル浜松で開催された“RI2620地区会員増強・維持委員会研修セミナー”に鈴木正二委員長と出席してきました。映像による諸先輩方のレクチャーや各分区分の代表者による発表があり、色々と参考になりました。そのなかで一番印象に残った言葉は、“仲間”でした。それは、ロータリーの会員になるメリットや退会しない理由は多々ありますが、究極的には“仲間になりたい、仲間でいたい”がキーポイントだったと思います。しかし、ロータリー仲間はどうあるべきかの話まで追究できなかったのが、残念でした。ようするに、近所の仲間、学生時代の仲間、職場での仲間や飲み仲間とは違うはずのロータリー仲間とは、何かと言うことです。ロータリーの会員は、ここがはっきり理解できれば会員は増え、退会者も減ると思います。ただし、あまり難しい事だと私にも無理ですから、常識的な教えでと考え、孔子の言葉を思い出してみました。子曰く「正直な人を友とし、誠実な人を友とし、知識ある人を友とすれば、得なり。世慣れして卑屈な人、一見、人当たりは良いが不誠実な人、口がうまいだけの人を友とするは、損なり。」です。もし得する仲間がロータリー仲間であれば、ロータリーの繁栄は間違えないと思いますが、さて皆さんはどうお考えでしょうか。

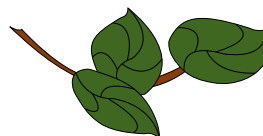
“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 岡本一八ガバナー(浜松北RC)
前島 純地区幹事(浜松北RC)
塩谷 泉地区幹事(浜松北RC)
小野 靖ガバナー補佐(裾野RC)
芹澤 豊ガバナー補佐事務局(裾野RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席	正率
前々回	40/44	90.91%	40/44		90.91%
今回	33/44	75.00%	会員総数	51名	

欠席者 石井(彰)君、石井(良)君、遠藤(正)君、勝間田君、澤村君、瀬川君、長田君、橋本君、矢岸君、柳田君、矢野君



幹事報告

幹事 千葉慎二君

①本日は2620地区 岡本一八(かずはち)ガバナーの公式訪問。せせらぎ三島クラブと合同で、ガバナーの講話を戴きました。

2014～2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリー・C.K.ホアン

ロータリーに輝きを

ガバナー挨拶

RI第2620地区ガバナー
岡本一八君



2014-15年度のロータリーは、ゲイリーC.K.ホアン会長の元、「ロータリーに輝きを」もたらすことがテーマ。そのため私は、会員増強を最優先課題とし、「会員のためになっているか」を考え、あらゆることを見直し、クラブ運営を行ってほしいと思う。社会ニーズが50年前と大きく変化している今、私たちの考え方もチェンジすることが必要。過去から目線ではなく、未来目線で新たな環境に適応し、チャレンジしていこう。

会員増強のために

新会員200名の入会が地区最大目標。

1人の会員が3人に声をかける努力をする。

レディース委員会や新会員委員会を設け、女性会員や新会員の意見を積極的に取り入れることで、新たな時代に合った魅力あるクラブを目指す。

(女性会員の割合／世界が20%に対し、日本は5%と実に低いのが現状。)

高額会費の見直しも必要。

寄付増強を目指そう

財を成したベテラン職業人に、社会奉仕という夢を叶える場を提供し、寄付を募る。

若い事業者を、ロータリーで一流職業人に育てあげ、利益から寄付増強につなげる。

奉仕目的の徹底

唯一変化してはならないのが「職業奉仕」。

職業奉仕とは、自分の職業(仕事)を成すこと。それこそが社会奉仕に繋がる。

職種が多様化していることに合わせ、名簿の職業分類を、解りやすく詳しく書き直そう。

会員同士の絆づくり、新たな友達づくりを奨め、会員の職業奉仕を応援しよう。

仲間づくりが成功への一歩

合同例会、メーキャップをはじめ、会員交流の場を積極的に実施しよう。

ロータリーは世界と繋がり、時流がいち早く掴め、ビジネスチャンスが溢れている。職業奉仕、また、地域社会奉仕のあり方を研究し、行動するアイデアを生み出そう。

ロータリーは、事業成功のクラウドだ!

積極的に出席し、本音で話し合える仲間を作り、自ら幸運を掴んでほしい。

リーダーとしての考え方

従来の慣習にとらわれず、明るい未来思考で考えていこう。

考えてから動くでは遅い。行動しながら考えよう。

自分の職業は真剣に情熱を持って!

ロータリーの仕事は真面目に!

ガバナー補佐に大きな期待。パストガバナーは、ガバナー補佐のアドバイザーとして活躍を。

永続を目指そう

何より永続が大事。時代に合わせ、多様性に富んだロータリーの価値観を構築し、ロータリーファミリーを作ろう。

ROTARY NEWS

切手に見るロータリー史

ロータリーの活動は、80年以上にわたり、世界各国で記念切手のデザインとなってきました。

初めて登場した記念切手は、オーストリアのウィーンで開かれたRI国際大会を記念して1931年に発行された切手。これは後に公式切手となりました。

以来、1940年のハバナ国際大会(キューバ)、1961年と1978年の東京国際大会、1981年のサンパウロ国際大会(ブラジル)、1987年のミュンヘン国際大会(ドイツ)など、数々の国際大会を記念した切手が登場。1955年のロータリー50周年には、27カ国が記念切手を発行し、その多くには、なじみのロータリーのイメージが刷り込まれています。例えば、ギリシャでは、ロータリーの歯車に数字の50を組み込んだデザインが使われました。ポール・ハリスの顔やその国の代表的な景色などもよく見られるデザインです。

ロータリー75周年には、ベナン、キプロス、ジブチ、ドミニカ、ガーナ、イランをはじめとする各国が記念切手を発行。オランダ領アンティル諸島の郵便局では、特別な絵葉書や切手を何種類も発行しただけでなく、ロータリーの徽章の形をした消印をつくり75周年を祝いました。またモルディブでは、保健、飢餓救済および人間性尊重(3-H)補助金をモチーフにした切手が発行されています。2005年には、ロータリーの100周年を祝ってフランス、ガーナ、ペルー、トーゴで記念切手が発行されました。

各国のロータリーの記念日、奉仕プロジェクト、人道的活動を記念して発行されたものもあります。1960年にボリビアで発行された切手は、ラパス・ロータリークラブが後援した小児科病院の建設を記念したもので、ロータリーの徽章がモチーフとなっています。フィジーでのロータリー創立40周年を迎えた1976年には、救急車を購入するために募金活動を行ったクラブのプロジェクトを記念した切手が発行されました。

(週報担当:川名正洋)